パナソニック スイッチングテクノロジーズ株式会社 帯広工場

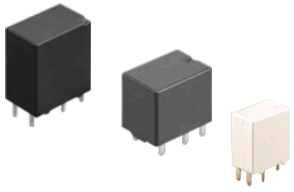
所在地:	北海道帯広市西25条北1丁目2番1号
敷地面積:	126,000㎡
延床面積:	31,067㎡
設立:	1973年2月13日
従業員数:	808 名　（2026年4月現在 社外人員含む）
ISO14001取得:	1996年10月25日
ISO14001最新更新:	2024年12月
主要製品:	車載リレー、EVリレー
問合せ:	帯広事業基盤部　TEL:　0155-37-4111

2025年度の環境重点テーマの取組み

目標	成果
【 グリーンプロダクツ 】 環境負荷の少ない商品の開発推進	RoHS規制対応など有害物質を含まない材料の採用。部品点数削減や小型化による原材料の削減、商品の低消費電力化など、ライフサイクルを意識した商品を設計・開発。
【 クリーンファクトリー 】 エネルギー削減　廃棄物発生量の削減	高効率生産設備の導入。生産性向上、発熱設備の保温断熱等でエネルギーを削減。 成形・金属材料のリサイクル等により、廃棄物のリサイクル率99．8%以上を維持・継続。
【 クリーンファクトリー 】 環境事故ゼロの継続と環境法規制の順守	環境事故なし。法規制順守

製品・環境配慮ポイントの紹介

＜車載用高電圧リレー商品群＞
・水素ガスを封入したカプセル接点構造と、永久磁石を利用した遮断技術により、高電圧を安全に遮断することができる機械式リレーです。
・燃費向上、化石燃料使用量削減を目的としたハイブリッド車(HEV)や、電気の力だけで走る電気自動車(BEV)、水素を用いた燃料電池で走るFCV等の環境配慮型車両の安全装置として搭載されています。



＜車載用小型PCBリレー商品群＞
・車載リレーBox.の小型化とスマートJ/B化に対応します。
(車載リレーBox.リード線の使用量削減)
・小型高容量タイプ。省スペース化に貢献します。
（小型化により、使用材料の削減を実現）
・全ての商品がRoHS指令に適合した環境配慮型商品です。

→製品情報へリンク　http://www3.panasonic.biz/ac/j/index.jsp

環境方針

パナソニック インダストリー株式会社　環境方針

私たちは、環境ビジョンで掲げる社会の実現に向け、法令順守を基軸とし、脱炭素と資源循環に焦点を当てた「重点活動」と、事業と社会の課題である環境負荷低減のための「継続活動」に取り組みます。

■重点活動

・事業活動に適用される環境法令やその他の要求事項を特定し、これらを確実に順守します。

・事業活動に起因するCO_2排出量の削減に積極的に取り組むとともに、サプライチェーン全体の脱炭素化を推進します。

・当社のデバイスおよび材料をお使いいただくお客様の製品・サービス・ソリューションを通じて、社会の脱炭素化に貢献します。

■継続活動

・廃棄物・有害化学物質を削減し、大気・水質・土壌・地下水等の環境汚染を予防し、地球環境と生態系の保全に努めます。

・製品のライフサイクルにわたる資源利用効率を向上させ、サーキュラーエコノミーの実現に向けた活動を推進します。

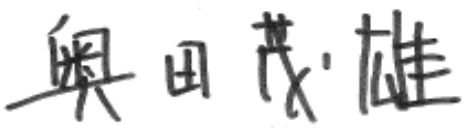
・ステークホルダー、お客様、地域社会との円滑なコミュニケーションに努め、要求事項に的確に対応することで、CSRを強化します。

・環境マネジメントシステムを継続的に改善し、事業活動における環境パフォーマンスを向上させます。

・グローバルに、環境人材の育成と環境管理体制の構築を図り、環境経営を実践します。

この環境方針は、一般に公開します。また、社員及び関係するすべての人へ周知し、部門における目的・目標へ展開してグローバルで実行すると共に、すべての部門で環境マネジメントを推進します。

2026年4月1日
パナソニック インダストリー株式会社
副社長執行役員　奥田　茂雄



環境負荷削減の取り組み事例

［廃棄物削減の取り組み］

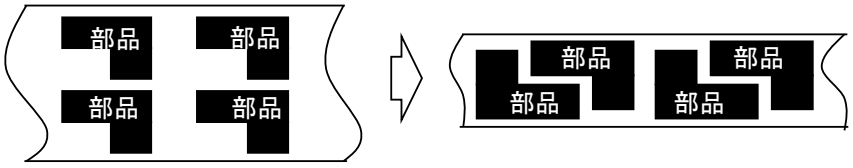
①金属金型改善による金属くず削減
②成形材料のリサイクル材の混合率をアップ
　する事により、廃プラスチック削減

［省エネの取り組み］

・トップランナー機器への更新
・発熱設備の断熱強化
・照明のLED化
・生産設備の生産性向上・TPM活動による改善

①金属くずの削減

薄板状の金属フープ材料をプレスして
部品を抜いている。
黒部分が加工部品、白部分が金属くず。



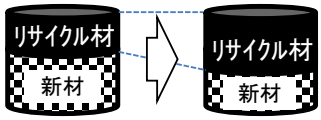
金属フープ材料

加工部品の配列を変えて
金属くず（白部分）を削減

金属フープ材料

②成形材料の混合率ｱｯﾌﾟ

成形材料のﾘｻｲｸﾙ材の
混合量を増やす



成形材料

環境コミュニケーション事例

工場周辺美化活動

工場見学ご案内　：　98名

緊急事態への準備と対応

自然災害や火災発生、救命処置を想定して定期的に緊急事態の対応訓練を実施しています。

放水訓練

消火訓練

避難訓練